

## 次号予告

### 特集 データ解析コンペティション：タクシードロブデータの解析

反実仮想機械学習を用いたタクシーの乗車数予測と配置最適化

..... 松井諒生, 住谷有規, 笹尾知広, 中田和秀 (東京工業大学)  
タクシーの流し営業における強化学習を用いた顧客獲得ナビ

..... 岩田真奈・桑原 惇・石塚湖太・倉又迪哉・  
清原明加・中田和秀 (東京工業大学)

複数ドメインからの転移を想定した回帰手法とタクシーの需要予測

—Multi Source Two-stage TrAdaBoost. R2の提案—

..... 柴田頼仁 (慶應義塾大学), 岩本大輝 (早稲田大学),  
小森晴菜, 多賀友哉, 鈴木秀男 (慶應義塾大学)

## メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.osrj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

## 編集後記

●あけましておめでとうございます。本年も、本誌をご愛読いただきますようお願い申し上げます。

●編集後記の執筆は、編集委員長退任の言葉を記した64巻6月号(2019年)以来です。この間、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大を起点として、社会環境は劇的に変化しました。大学では、対面で行っていた講義やゼミの多くがオンラインに移行し、動画による講義も整備されました。会議などもオンラインで実施されるものが増えました。デジタル技術を活用した、時間と空間を“超えた”コミュニケーションが社会に浸透した現在、時間と空間を“共有する”従来からある“対面”(face to face)のもつ価値は何であるか、深く考えるようになりました。

●新型コロナウイルス感染症拡大のニュースは、“数理モデル”という言葉が一般用語化し社会に浸透させました。

社会現象を数理モデルとしてモデル化し予測し最適化を行う、といった、ORの研究者や実務家が日常的に実践している活動が自然に社会に受け込み、実学を標榜するORの実力が世の中で評価された瞬間と思えました。誇らしいことと感じました。

●今号の特集にもあるように、“数理モデル”を活用した課題解決の有用性は高く、その期待は高まっていると感じます。年始にあたり、その期待に応えることができる活動を、OR学会の一会員として実践していく1年にしたいと思います。

●“数理モデル”は、いうまでもなく、ORの研究者や実務家にとって最も身近な用語の一つです。OR事典への迅速な収録を期待して、編集後記の筆を置きたいと思います。  
(猿渡康文)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 繁野 麻衣子 (筑波大学)

特集担当編集委員 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校)

委員 朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (神奈川大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 大竹 恒平 (東海大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田目 崇 (中央大学), 野々部 宏司 (法政大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

令和3年1月号 第66巻 第1号 通巻721号

代表者 田口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032  
<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 繁野 麻衣子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。